



Press Release

2023年8月24日

報道関係者各位

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 奥澤 宏幸
(コード番号 4568 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎
TEL 03-6225-1126

第6回日本医療研究開発大賞における内閣総理大臣賞受賞のお知らせ

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、第6回日本医療研究開発大賞において、当社独自の抗体薬物複合体(ADC)*技術である「DXd-ADC技術」を開発し、新規がん治療薬を創製した功績が評価され、内閣総理大臣賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

日本医療研究開発大賞は、我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした功績を称えるものです。医療への国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めることを目的として、2017年度より表彰が行われており、今回で6回目となります。内閣総理大臣賞は、極めて顕著な功績が認められる事例1件に対して授与されます。

今回の受賞は、当社が独自の「DXd-ADC技術」を開発し、抗悪性腫瘍剤エンハーツ®を創製したこと、さらに本技術を適用した複数の新規がん治療薬候補の開発も進行中で、がん治療への更なる貢献が期待できることが、高く評価されたものです。表彰式は2023年8月23日に首相官邸にて開催され、岸田首相より授与されました。

当社の代表取締役会長 兼 CEOの眞鍋 淳は、「この度の名誉ある受賞を大変光栄に思います。今回の受賞は、当社が培ってきたサイエンス&テクノロジーが高く評価されたものであり、大きな励みとなります。今後も、患者さんに革新的医薬品を迅速にお届けし、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献できるよう、研究開発に積極的に取り組んでまいります。」と述べています。

以上



- * 抗体薬物複合体(ADC)とは、抗体と薬物(低分子化合物)を適切なリンカーを介して結合させた薬剤で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつがん細胞への攻撃力を高めています。